

第4次前橋市食育推進計画素案に関する  
パブリックコメント（意見募集）の実施結果について

1 意見募集期間

令和4年12月1日（木）から12月26日（月）まで

2 意見提出者

9名、11件（うち同様のご意見等4件）

3 意見及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。

意見等の概要	意見に対する市の考え方
<p>① 数値目標で、「食育に関心がある」市民の割合が高く、特に中・高校生は前回調査より10%以上伸びた。各世代別での食育は如何にあるべきか考えたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高生から青年期前半 飽食時代に育ち、肉類やジャンクフード、菓子類等に偏った食生活により、群馬県はむし歯や肥満の割合が全国平均より高い。この傾向は小中高生全般で見られ、早急な学校や家庭での対応策が求められる。</li> <li>・青年期後半から壮年期前半（30～40歳代） 肥満は30歳代から増加傾向にあり40歳代でピークを迎え、この世代は生活習慣病の予備軍と言える。働き盛りのこの世代は運動不足や不規則な食生活（朝食欠食、暴飲暴食等）に偏りがちになり、企業や家庭での食育の実践と、自分の健康状態の把握は必須であり、方策が求められる。</li> <li>・壮年期後半（50～64歳） 現役世代や高齢期に向かう世代でもあり、運動や規則正しい食生活により生活習慣病の予防に努め、また定期的な健診等により病気の早期発見、早期治療に注力することが、これからの高齢期に向けて健康的な生活を送るために重要な時期である。健診結果</li> </ul>	<p>各種統計データや、令和3年に実施した「前橋市食育に関する市民意識調査」から、それぞれのライフステージにおいて食生活に関連した課題が明らかになりました。</p> <p>そのため、本計画ではライフステージを7つに区分し、それぞれの段階に応じた行動指針を示しています。</p> <p>特に、若い世代における健全な食習慣の獲得は、生活習慣病を予防する観点からも重要な課題であり、朝食欠食の改善、野菜摂取の向上、減塩の実践は重点的な基本方針とします。</p>

<p>での適切な保健指導等による健康的、定期的な運動、食生活指導を行い老後に備える。行政や企業との連携が必要である。</p> <p>・高齢期世代（65歳～）</p> <p>医療費の伸びを如何に抑えるかに重点を置き、健康寿命の延伸に注力し、食生活では栄養バランスや減塩、たんぱく質の摂取に努め、サルコペニアやフレイル予防し、寝たきり、介護にならないよう意識し生活する。コロナ禍ではあるが、食生活改善推進員等による食育の機会を（調理実習以外で）市民センター等で開催・提供し、地道に減塩（味噌汁塩分濃度測定等）や野菜摂取推奨等のキャンペーンにより周知徹底を図る。行政は予算化しバックアップが必要である。</p>	
<p>② 「食は命の基本 からだをつくり ころをつなぐ みんな笑顔で健康づくり」とても素晴らしい理念だと思う。特に、朝食の欠食率が高い若い世代は、次世代を担う大切な人たちであり、重点的に取組をしていくことは、本当に大事なことだと思う。</p> <p>小・中学校の給食や家庭科などの授業などを利用して、「食こそ命の基本」との食育を行っていくことなど、忙しい時代にあって、大変かもしれないが、今こそ推進していかなければならないのではと思う。</p>	<p>若い世代は、次世代に「食」の重要性を伝える役割を担う大切な時期でもあるため、朝食欠食の改善も含め、健全な食生活が実践できるよう重点的に取組を進めていきたいと考えています。</p> <p>学校においては、食べることは生きることの源であり、心と身体の発達に密接に関係していることを子どもたちに伝えることが出来るよう、教育委員会担当課と連携し取り組んでいきます。</p>
<p>③朝食欠食を無くすように、皆さんに声掛けしたいと思う。</p> <p>（※同様のご意見4件）</p>	<p>朝食欠食の改善は、これまでの取組に引き続き、重点的に進めていきます。</p>
<p>④「食事の時のあいさつやマナーを大切にする」割合が目標値の半分とは、さみしいと思った。</p>	<p>食事のあいさつやマナーは、子どもの頃から大切にする心を育むことが大切です。食育の場の基本は家庭であることから、引き続き家庭での食育が実践されるよう取り組みます。</p>
<p>⑤主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を食べるように声かけする。</p>	<p>これまでの取り組みに引き続き、主食・主菜・副菜を組み合わせる栄養バランス良く食べ、健全な食生活の実践ができるよう、家庭や学校、地域等と連携し、啓発に取り組めます。</p>

<p>⑥毎日の生活に欠かせない意見、大変すばらしいと思った。特に、買いすぎ、作りすぎに気を付けることをいつも心がけている。これからも気を付けて実行していきたいと思う。</p>	<p>買いすぎ、作りすぎに気を付けることは、食品ロスの削減につながることから、環境に配慮した食生活が実践されるよう取り組みます。</p>
<p>⑦子どもたち、孫たちに食材、食材の栄養摂取の組み合わせ、折に触れて話し合い、健康に努めたいと思う。</p>	<p>子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることが出来るよう、家庭だけでなく、地域においても食生活改善推進員と連携しながら、食育が実践されるよう取り組みます。</p>